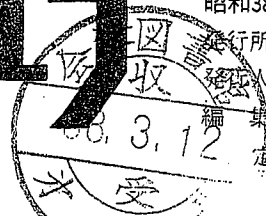


市政だより

昭和38年3月10日発行

発行所 会津若松市 桜木 幸次
編集 広報係
定価 5円

昭和26年7月6日第三種郵便物認可



人口動態
(2月1日現在)

世帯数	21,930 (+ 9)
総人口	101,157 (+146)
男	48,081 (+ 62)
女	53,076 (+ 84)
出生	225件 死亡 91件
転入	248 転出 236
婚姻	47 離婚 8



3月のメモ

今月の写真

春……春は、もう野に山に
私たちの中にめばえている
お城の石垣にも、春の温かい香
りがただよい
そして春を喜ぶ乙女の微笑は限
りない希望を描き出す。

- | | | | |
|-------------|------------------|------------|------------|
| 14日 | 午後1時～5時 | 中卒就職生への激励会 | 市民会 |
| 15日 | 午後1時30分～5時 | 手をつなぐ親の会 | 市第1会議室 |
| 15日 | 午後1時30分～4時 | 成人病予防講演会 | 公民館3階 |
| 23日 | 午後5時～10時 | 会津労演3月例会 | 市民会館 |
| 24日 | 午前9時～午後10時 | 東北民謡・民舞大会 | 市民会館 |
| 20日まで | 昭和38年度固定資産課税台帳縦覧 | | 市税政課 |
| 4～20日 | 福島県うまいもの展 | | 西武デパート食品売場 |
| 22～23日 | 福島県漆器及び木製品見本市 | | 大阪・大阪大丸店 |
| 2月28日～3月13日 | 春の全国火災予防運動 | | |
| 21日 | 春分の日 | | |
| 1～31日 | 越冬昆虫駆除実施 | | 全市内対象 |

朝晩は寒くても、
縁側に当たる日ざし
がやわらかくなりま
した。

春先になると、ハ
エの動きに気がつき
ます。今までどこに
かくれていたのだろ
うとびつくりします
が実は暖かい天井な
どで、こっそり越冬
しているのです。ま
たこれから生まれる
ハエはサナギになっ
て便所のくみ取り口
の近くなどの、深さ
一〇センチから二〇
センチぐらいの土の
中で年を越している
のです。このサナギ
のいる土を掘り起こ
し、DDTや殺虫液
をまいて退治してお
きます。発生期には
外側の始末ばかりで
なく便所の内側にも
殺虫液を流しておき
ましょう

ゴミ箱もハエの巢
になりますから、捨
てたものがぐさらな
いように、紙くずと
野菜くずは、別々に
仕束することがたい
せつです。



市政の足跡

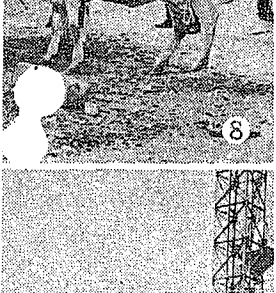
福祉そして後期五カ年計画も着実な歩みを示し、
当市の総合的な発展を如実にものがたりました。



1



8



3



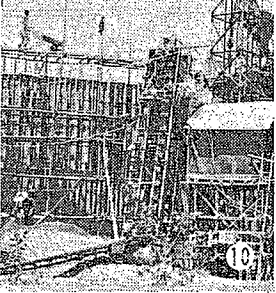
2



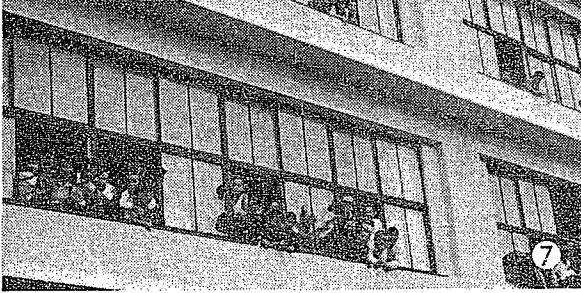
5



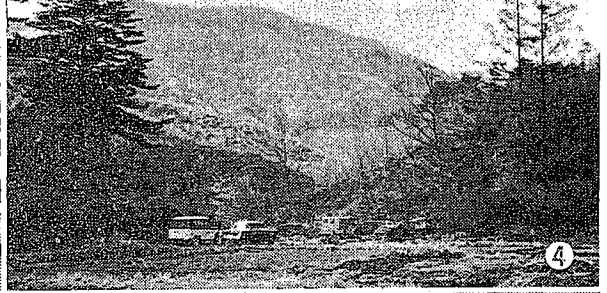
4



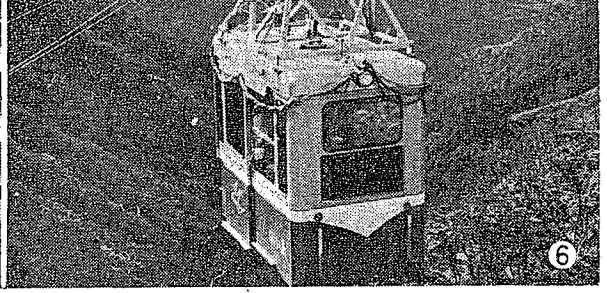
10



7



6



- ①動く図書館「あいつね」号
全国で四ヶ所、東北ではじめてという自動車文庫が出来上がり、その名も「あいつね」号と名づけられ、新市の農山村地域の地理的に図書館利用が思うように出来ない人達のために、約千冊の本を積んで新市地区を巡回して貸出し、好評をよみました。
- ②奥東山のスクールバス開通
奥東山の川浜など五部寄の中学生は、二中まで八キロの道のりを通学していましたが十月開通しました。
- ③駅前広場舗装完成
広さ、千六百平方メートル、観光、津の玄関口にふさわしい近代的な広場
- ④ヶ平ダム着工本決まり
総工費三億八千五百万円、完成予定は四十二年前後、淡地区農民長年の願いだつた農業ダムができれば六百ヘクタールの水田をうるおし、米約六百万石(四千石)の増収見込となつておおいに期待されます。
- ⑤会津若松市自動車学校開設
自動車運転しようとする人々に、必要な知識と技能を習得させ優秀な運転者を養成しようとして、全国で三番目の市営自動車学校が、市内神指町大字南四合に設置され八月十五日開校されました。開校早々大入り満員で、今後の発展が大いに期待されます。
- ⑥背あがり山の第二ケーブル開通
全長七〇メートル、高低六〇メートルと東北一のケーブルが九月開通しました。このケーブルは二線交走式で定員十六名、二輛のゴンドラも「青い鳥」「赤い鳥」と名付けられました。
- ⑦整備された教育施設
今年度の教育費は学校建設に重点的な予算がくまれ、いままでない学校整備が行なわれ、鶴城・城北・大戸・原永和等各小学校の老朽校舎の全面改築がなされました。
- ⑧乳牛ドック
県農業共済組合連合会と市農政課では、県下ではじめての乳牛精密検査を行ないました。病歴、繁殖、血液、尿検査などあらゆる牛の健康状態を検査し、牛の健康と安全を確保すること。

引揚者給付金など 支給法に関する相談会

引揚者給付金等支給法に関する相談会が左記により開かれます。これは県の係員が請求手續指導を行なうものです。

と き 三月十九日 午前九時から午後四時まで

と ころ 会津若松市役所第二会議室

参加要領 ①請求書を提出したが返戻され、いまだに支給になっておられない方。

②法の一部改正により新たに請求書を提出しようとする方。

なお、おいでの際は印鑑をご持参下さい。

昭和三十八年度 会津競輪臨時従事員募集

昭和三十八年度会津競輪臨時従事員を次の要項で募集しておりますので、希望の方はお申込み下さい。

一、応募資格

- ①新制中学校卒業程度以上
- ②年令は問わない

二、申込期間

昭和三十八年三月二十日まで

平日は午前九時から午後四時まで(ただし土曜日は午前中とする)

三、申込場所

会津若松市役所商工観光課又 七、待遇

は会津若松公共職業安定所

四、申込方法

申込場所に備付けの申込書に記入して下さい。

五、採用試験

- ①三月二十七日(水)午前九時三〇分 有経験者の面接試験
- ②三月二十七日(水)午後一時三〇分 未経験者の筆記試験及び面接試験
- ③三月二十八日(木)午前九時三〇分 技能職試験(前日の受験者中から技能職種の希望者について特別試験をする)

六、試験場所

会津競輪場内(市内小田垣)

日給 女子・三六〇円以上
男子・四〇〇円以上

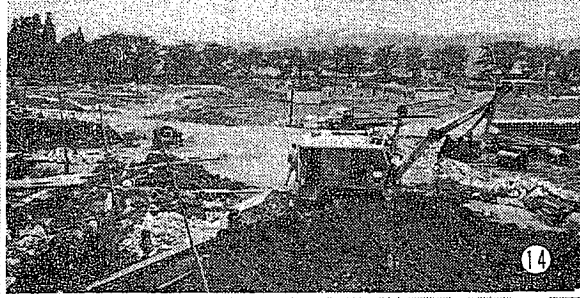
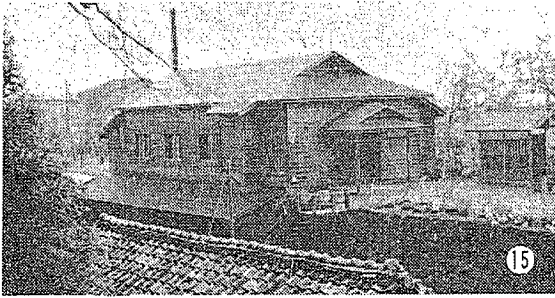
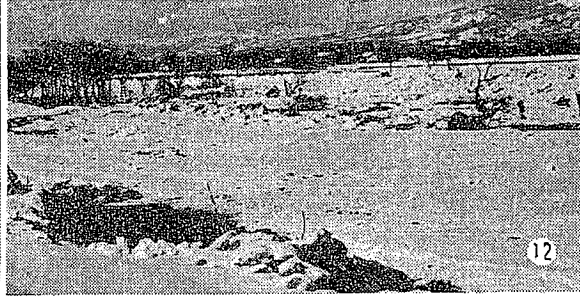
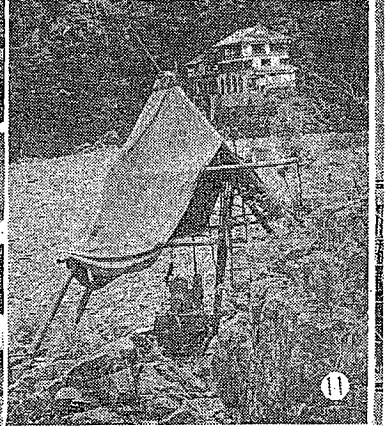
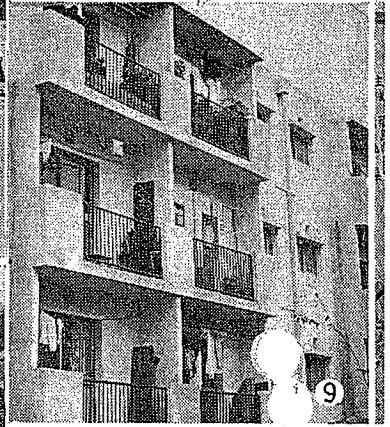
八、その他

- ①未経験者の方は試験当日筆記用具を持参下さい。
- ②履歴書は不要です。

分まで
三
うら
て3円)

37年度

昭和三十七年度も市民のための明るい
市政という指標のもとに、教育・産業・



⑩ 尿処理場
三十六年度から三ヶ年継続事業として始められている尿処理場の建設は、今年度も急ピッチで進められました。完成は今年の九月、本市の衛生面に大きな歩みを示す尿処理場の完成がまたれます。

⑪ 小谷温泉の開発
大戸町小谷温泉総合開発の第一次計画である湯源のボーリングが十一月小谷温泉上流で始めました。誰でも気軽に温泉にひたれる国民宿舎の建設は、いちだんと期待がもたれます。

⑫ 食肉センターの建設
と畜から食肉まで一切の処理能力を持つ食肉センターの建設は、三十七、三十八年度の両年度にわたる継続事業としてその建設計画が進められました。建設地は市内神指町地内の大川筋、完成予定は今年の九月末となっております。会津地方の食肉センターとして果す役割も間近です。

⑬ 山口氏に文化功労賞
市では今年をはじめでの試みとして市民文化祭を開催したが、十一月三日、会津の文化向上につくしてきた山口孝平氏にはこれの文化功労賞が授与されました。

⑭ 水道拡張工事
水道拡張工事は、昨年度から三ヶ年継続事業として行なっていますが、今年度も一億六千万円の予算で順調に進められました。

⑮ 火葬場の建設
市としても多年の懸案であり、市民の方々の要望であった火葬場の移転は、九月市会に決定されました。移転先は門田町の大字黒岩地内。

⑯ 雪害除雪作業
市内八公共団体が集まり、雪害対策本部を急遽設置し、全市民によびかけ、さらに自衛隊の出動をえて市民の積雪の収集運搬を行なった。

⑰ 商店街診断
市と商工会議所では、商店街の振興発展のために、商店街診断を行なった。これにより一層近代的な商店経営が期待されます。

⑬ 山口氏に文化功労賞
市では今年をはじめでの試みとして市民文化祭を開催したが、十一月三日、会津の文化向上につくしてきた山口孝平氏にはこれの文化功労賞が授与されました。

⑭ 水道拡張工事
水道拡張工事は、昨年度から三ヶ年継続事業として行なっていますが、今年度も一億六千万円の予算で順調に進められました。

⑮ 火葬場の建設
市としても多年の懸案であり、市民の方々の要望であった火葬場の移転は、九月市会に決定されました。移転先は門田町の大字黒岩地内。

⑯ 雪害除雪作業
市内八公共団体が集まり、雪害対策本部を急遽設置し、全市民によびかけ、さらに自衛隊の出動をえて市民の積雪の収集運搬を行なった。

⑰ 商店街診断
市と商工会議所では、商店街の振興発展のために、商店街診断を行なった。これにより一層近代的な商店経営が期待されます。

いつでも・どこでも・ひとりできる

あたらしい 俳句の教室

- 3月25・26日午後6時半より
- 公民館2階日本間
- 受講料……無 料
- 講師 高橋華江氏 佐藤秋水氏

俳句、それはもう世俗をはなれた風流人のものではありません。まげしい社会の変転の中にあって苦しみ打ち勝ち、悲しみを感えて新しい喜びをかちとるための現代人の手段であり、人間真のこころのふれ合いの場なのです。

主催 会津若松市公民館

第三回目

ジフテリア・百日咳混合 予防接種を行ないます

日時 場所は次のとおり

三月十八日 午後一時〇分～二時三〇分・町北公民館。午後二時～三時・高野公民館

三月十九日 午後一時〇分～二時三〇分・一箕公民館。午後二時～三時・東山出張所

三月二十日 午後一時〇分～二時三〇分・門田公民館。午後二時～三時・神指出張所

三月二十二日 午後一時三〇分～三時・林谷医院(大工町) 星医院(粗屋町) 浜崎医院(桂林寺町) 加藤医院(川原町)

固定資産課税台

期間 3月1日～3月20日
毎日午前8時30分より午後
なお土曜日の午後も休ま

場所 本庁税政課及び湊・大戸両

会津若松市公

場 所 会津若松市米町 230番 (市)

貸付金額 1口 1万円以内
1世帯 3万円以内

利 子 月3分 (1ヶ月 100円)

流 質 期 限 4ヶ月

取 扱 時 間 午前9時から午後4時
ただし土曜日は正午

休 日 毎日曜日・祝日

道路美の美化運動

容器で一日おき、収集 まの町三四之堅町内

市の衛生課では、大町通り二之町角から五之町角までを衛生モデル地区に指定して、ゴミの定時収集を行ない好評をえています。

これは、町の美化運動のひとつとして、観光地としての街並みをきれいにする一方、道路を広く使おうと去年から道路のゴミ箱をなくす運動を進めていきました。

まず市の衛生課では、大町地区をモデル地区としてとりあげ町内ごとに座談会を開いておりましたが、このほど大町三四之堅町に協力を求めて、モデル地区として定時収集を始めたものです。

この定時収集は、月、水、金の週三回 指定された約六十世帯の各家庭が自主的に購入したポリエチレン製のふた付きバケツ(四十五リットル入り)にゴミを捨て、朝八時三〇分にゴミ集めの自動車か鐘を鳴らしながら回ってきたときに、このポリエチレンの容器を出しておけば、

農作物の雪害対策について

①麦類及びその他の畑作物 雪腐病を防ぐため一日も早く細土(二立方メートル当り二キログラム)木灰(三立方メートル当り二五〇グラム)燐炭(三立方メートル当り一五〇グラム)などを撒いて雪消しに努めて下さい。また雪どけ水が溜らないよう排水溝を設け排水をおこなう。また雪どけ水の追肥を行なう。ただし、十アール当り硫酸七五キログラムを越さないようにし、基肥の多少により加減して下さい。

②稲作 苗子定地には、土壌散布又は灌水を行なって雪消を促進し、地温を高めるようにして下さい。

③果樹 ない、ぶどうなどの果樹棚の倒壊した場合、速かに修理して下さい。雪のため枝折れしたものは枝組をして剪定をかねて処理し、融雪後に薬剤の散布を行なう。病害虫の防除に努めて下さい。

④桑園 桑折れ、胴枯病を防ぐため早目に除雪して、樹元を枯らさないようにして下さい。

⑤野ソ駆除 融雪後速やかに野ソ駆除を実施して下さい。フトラールを使用する場合は、仕事の指導を受けた指導者の指示を行なう。雪害状況を把握するため被害面積を市農政課に連絡して下さい。



なだれに注意

よく注意して通りましょう。なだれ発生の多いところは「なだれ注意」の立札を立てましょう。

みなで注意して通りましょう。特に学校帰りの時間が危険です。

雪どけの災害が目前にせまっています。あなたの田畑家屋はどうですか。立木や農道はどうですか。雪どけには相当の被害が出そうです。今から防ぐ工夫をしておきましょう。災害の発生したときはすぐに市役所へ「せま」しましょう。

三存知ですか

一、認知とは、婚姻外に生まれ、法律上は父または母の知らない子を、法律上自分の子であると認めることです。「認知」には次のような各種の届出及び方法があります。

一、嫡出でない子(婚姻外の子) 出さない夫婦間の子

二、死亡者の認知 死亡した子はそのものに直系系属(子や孫)がある場合に限り認知することが出来ます。

三、認知される者が成年者であるときは、そのものの承諾が必要で、

四、認知者 認知する者は父、養父の場合に母です。

五、届出地は、認知者、被認知者の本籍地又は届出人の所在地です。

六、届書の通数 本籍地に届出なければなりません。

七、遺言による認知 認知は遺言によってもすることが出来ます。この届出は遺言執行者がその就職の日から十日以内に遺言の謄本を添付して届出なければなりません。

八、裁判による認知 父または母が認知をしないとき、ある孫が認知をしないとき、ある場合に限り認知することが出来ます。

九、父が認知した子は、その父母の婚姻によって、または婚姻中の父母が認知すれば、その時から嫡出子の身分を取得することが出来ます。

十、胎児認知 母の胎内にある児を認知する場合は、母の承諾が必要で、

十一、父が認知しても、直ちに父の氏を称しませんが、家庭裁判所の許可を得て、その氏を称することが出来ます。

十二、父が認知しても、直ちに父の氏を称しませんが、家庭裁判所の許可を得て、その氏を称することが出来ます。

十三、父が認知しても、直ちに父の氏を称しませんが、家庭裁判所の許可を得て、その氏を称することが出来ます。

十四、父が認知しても、直ちに父の氏を称しませんが、家庭裁判所の許可を得て、その氏を称することが出来ます。

十五、父が認知しても、直ちに父の氏を称しませんが、家庭裁判所の許可を得て、その氏を称することが出来ます。

就職・進学の時期中です 入学前に「住民登録」の完全な届出を

昨年七月一日は住民登録法が施行されて十年になりましたので、三十七年九月一日現在で市民の皆様のご協力のもとに調査を実施いたしました。その結果は次のとおりです。

区分	実施時に おける数	登録簿	消除簿	計B+C+D	比率D/A
人口	110,000	85,000	10,000	95,000	0.86
世帯数	30,000	25,000	2,000	27,000	0.90

住民登録は居住関係を公証する唯一の公簿であり、正式に市民権の資格をもつ基本となるものです。各種行政の基礎資料として利用する大切なものであり、原因であり、またそれが皆さん又皆さんにとっても、日常生活の利便を得られるものなのです。例えは、

このような大切な「住民登録」といふ公簿がさきの表のとおり、相当の誤記があることが判明したことは他の信頼を失う重大な原因であり、またそれが皆さん自身に利益を得られないものであります。例えは、

二月のあしあと

- 五日(火) 県知事ら雪害視察に来若 佐藤県知事一行七名が雪害視察に来若、会津若松駅長室で記者会見を行なった。
- 八日(金) 自衛隊出動で除雪作業 県知事の要請で除雪隊山駐とん部隊一行百余名が来若市内五幹線の除雪作業を行なった。
- 九日(土) 政府の災害調査団来会 八田副官房長官を団長とする一行十一人の政府の災害調査団が来会、会津若松市やその他各市町村からの陳情をうけた。
- 十日(日) 市民スキー大会 第八回会津若松市民スキー大会、第七回市立小中学校スキー大会は九時から小田山スキー場で開催された。参加者は約七百五十名。
- 十一日(月) 雪害情報のため全会津の市町村が結束 東北合同庁舎で雪害会津方部市町村会議が開かれた。
- 十二日(火) 青少年健全育成研修会 県と県青少年問題協議会の主催で指導員等約六十名が参加して行なわれた。
- 十三日(水) 会津若松市立小中学校の体験のもとに活発に行なわれ、また県に二施設しかない特殊学級を拡充して欲しいことなど提出した。
- 二十一日(木) 西郷戸に部落電話 市内神指町西郷戸部落に、長年要望していた部落電話が架設され、神指出張所での祝賀式を行なった。
- 二十三日(土) 農村青年研修会 市公民館で開かれ、約百人の青年たちが集まり研修を行なった。
- 二十四日(日) 第七回市民体育祭 市、市教委事務局、会津体育協会主催の冬季市民体育祭は熱戦のうちに展開された。
- 二十五日(月) 若松市防災会議スタート 災害対策基本法の実施にもとづいて第一回の会議が市の第一会議室で開かれた。